

政務活動報告書

報告者 織田菊男

調査内容 1、山形新幹線開通後の観光客誘致について
2、本市の廃棄農園に果樹栽培が可能かの調査について

調査日 平成26年10月15日—17日

調査場所 山形県東根市 商工観光課観光物産係
株式会社 天香園

対応者 1、商工観光課 課長 小松伸一郎 課長補佐 後藤明彦
2、天香園社長 岡田誠

調査議員 西村信夫 山下芳郎 織田菊男

1、山形新幹線開通後の観光客誘致について

調査内容

嬉野市は数年後、九州新幹線西九州ルート of 停車駅ができることになっている。

嬉野と共通するところとして、山形新幹線の中間の駅がある東根市が新幹線開通後に観光客の誘致のために現在行っている事業について調査を行った。

東根市はサクランボの有名な産地で、サクランボを中心とした観光客誘致の各事業を行われていた。また、JRと協働企画した旅行商品を造成されていた。さくらんぼ東根駅には、観光機能をもつ「さくらんぼタント館」を設置され、さくらんぼ東根駅長と市観光物産協会で、市内の名所旧跡だけでなく、気楽に楽しめるような小さい旅行プランを企画されているほか、近隣自治体を周遊するような着地型旅行プランを造成されていた。

また、寝る、食べる、遊ぶ、を考えたイベントとして、市内生産物の中心であるさくらんぼの産地東根市を全国に発信するため、さくらんぼマラソンをおこなっておられた。

視察の感想

観光客誘致は市が誇れる名所旧跡を大きな柱として行うべきではないのかと考える。又、魅力あるイベントを中心とした行事により他市からの観光客の誘致を考えるべきではないのか。そのためにはこれまで以上の情報が必要と思う。

嬉野市は温泉や宿泊の施設は整っているのですが、食事や遊びの面で多くの人

が、家族で来られるように考えていくべきではないのか。

東根市は、市の多くの行事の計画、実行を市の職員が行うとのことである。嬉野市は多くのイベントを業者がおこなっているが、市職員を中心としたことに改めて行うべきではないのか。

2、本市の廃棄農園に果樹栽培が可能かの調査について

調査内容

嬉野市においても多くの地方都市と同じように耕作放棄地が増加している。特に中山間地に多く見られる。中山間地は多くの土地に傾斜があり土地条件に合う農産物が少ないと考える。今回、日本でも有名な果樹苗木の専門の山形県東根市の天香園を視察した。本市の近隣市においても天香園から果樹苗木が送られ栽培されており、どのような果樹がここ嬉野に適しているかを調査した。

視察の感想

天香園の社長の話では、多くの果樹は日本では栽培できる、と言われた。果樹栽培は、栽培される人の考えや栽培方法次第ではないかと思う。

果樹栽培は、苗木の選定が大きな問題であり最も大切な事と考えるが、中山間地は鳥獣の被害があるので果樹苗木の選定は土地条件、気候などを踏まえたうえで考えるべきと思う。

一般的に、栽培される人は情報が少なく、どのような果樹の種類を選定したらいいのか分からないので、情報提供や生産者の育成において市が支援することが必要だと思う。